

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市第2グループ(大師・藤崎・殿町)	評価対象年度	平成24年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	川崎区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 大師こども文化センター ①年間延べ利用者数 31,260人 ②年間延べ利用団体数 133団体</p> <p>2 大師小学校わくわくプラザ ①登録者数 174人 ②年間延べ利用者数 10,893人</p> <p>3 四谷小学校わくわくプラザ ①登録者数 170人 ②年間延べ利用者数 10,320人</p> <p>1 藤崎こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,394人 ②年間延べ利用団体数 193団体</p> <p>2 藤崎小学校わくわくプラザ ①登録者数 235人 ②年間延べ利用者数 16,088人</p> <p>3 川中島小学校わくわくプラザ ①登録者数 174人 ②年間延べ利用者数 11,659人</p> <p>1 殿町こども文化センター ①年間延べ利用者数 30,242人 ②年間延べ利用団体数 389団体</p> <p>2 殿町小学校わくわくプラザ ①登録者数 263人 ②年間延べ利用者数 11,868人</p> <p>3 東門前小学校わくわくプラザ ①登録者数 398人 ②年間延べ利用者数 18,245人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 143,485,844</p> <p>2 支出 人件費 113,266,994 事業費 7,676,813 事務経費 13,928,942 その他経費 226,413 合計 135,099,162</p> <p>3 差引 8,386,682</p>
サービス向上の取組	地域や学校との良好な関係により、こども文化センターの機能を生かして世代間や団体交流等の事業や取組みが積極的に実施されている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 同一法人が運営する施設合同で「マンカラ大会」「BUNBUNステージ」「子どもサミット」を開催し広く交流した。グループ合同行事として地域のスポーツ団体や区役所と連携してカローリング大会を実施し、児童同士や世代間の交流を深めた。地域団体と協力して「親子体操」「地域の人と話そう」の実施や地域の高齢者を招待してよさこいツアーやけん玉を披露するなど世代間交流を深めた。また、川崎高校と連携し「レッツゴーおでかけランチ」を開催し食育を推進した。また、企業や行政機関と連携して「3D工作」「ごみ収集スケルトン車教室」「租税教室」を実施し子ども達の興味を広げた。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 金銭管理・会計手続及び支出内容について、全20グループ53施設を指定管理している運営法人のスケールメリットを生かし、全体としては適切な経費執行であった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	3	6
<p>(評価の理由) 全市的にはかわさきFMでの放送や、各館では毎月のお便りを近隣の小学校や中学校及び関係機関(町会、区役所、社会福祉協議会)等へ配布し周知、ホームページにも掲載した。小学校、中学校、高等学校、スクールサポーター、PTA及び青少年指導員等と連携して、地域の青少年にかかわる情報の共有を図った。運営協議会や学校、地域団体や行政機関との連携で交流事業や、地域高齢者や民生委員等と児童の意見交換会を実施し、地域での世代間交流が充実した。また、区役所や地域子育て支援センターと連携して事業を実施し、事業の推進と施設の有効活用を広げた。</p>					
組織管理体制制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正な職員配置を実施の上、特別な支援を必要とする児童については、適宜スタッフを追加で配置した。市が主催する研修や運営法人本部主催の研修、川崎市9館合同やグループごとの研修、館ごとの研修へ多数参加しスキルアップを図った。グループ研修では警察やスクールサポーターと連携して「安全管理(防犯)研修」を実施し、危機管理意識を高めた。また、配慮が必要な子どもについての研修を各館で実施。運営法人の巡回相談も活用し理解を深め、適切な対応につながった。個人情報等適正に取扱い、漏えいや紛失の事実はない。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来たすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか	5	4	4
		施設の防犯のための工夫をしているか			
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
<p>(評価の理由) 施設の点検や安全整備をチェックシートを用いて日々行い、必要な修繕や保守を迅速に実施し環境整備に努めた。全職員普通救命講習を受講し、設置したAEDを非常時使用できるよう研修を実施した。未然に防げる事故の発生については、再発防止に向けて運営法人全体で検証作業を繰り返し行い万全な体制を整えた。防災時対応マニュアルを作成し、各学校と土曜日や長期休業日も含め緊急時対応について体制を共有した。わくわくプラザに防災遮光カーテン及びこども文化センターに発電機を設置、全施設に簡易トイレを準備し災害対策の強化を図った。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

全20グループ53施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、経費の一元管理によって各種研修、記念事業の開催、ノウハウの共有等によってサービスを提供し着実に事業を推進している。  
事故や苦情に対しては、再発防止や改善に向けて検証を実施し、努力の上体制を整えた。  
災害対策の強化として施設の環境を整備し、備蓄品を充実させたことは評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、利用者の立場で環境を整備し、児童が安全で安心して過ごせる施設として運営に努めること。また、地域との連携によりさらなる事業の推進を期待する。